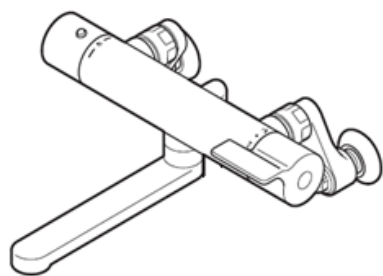
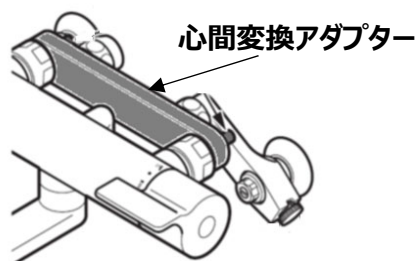
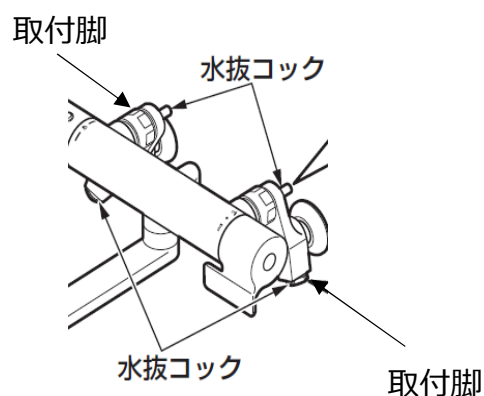


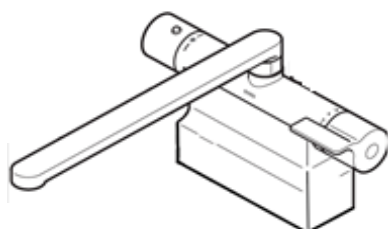
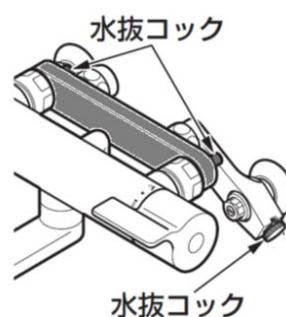
寒冷地用水栓は、取付脚に水抜コックがあります



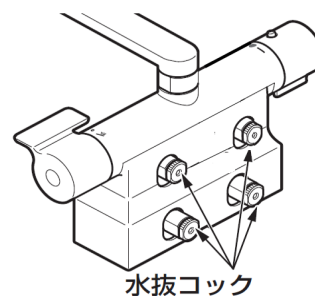
壁付き サーモスタット混合水栓



壁付き サーモスタット混合水栓に
心間変換アダプター(TBN01206型)を
取り付けている場合



台付き サーモスタット混合水栓



凍結予防方法

P 2、3

通水再開方法

P 4

水抜きを行っても 通水再開後、水が出ない場合の対応方法

P4

通水再開後に流量が変わった場合の対応方法

P5

万一 凍結した場合の対応方法

P 6

凍結後、温度がずれている場合の調整方法

P6、7

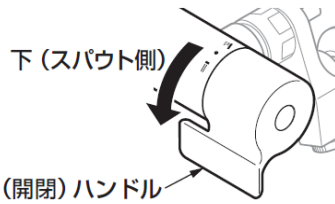
凍結予防方法

1. 水栓の水抜きをする前に

配管内の水を抜いてください。

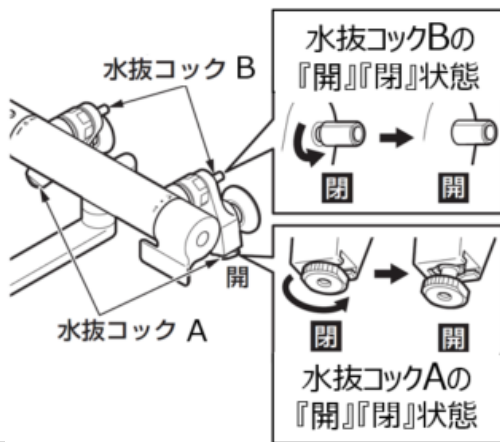
配管内の水を抜いていない場合、水栓内の水が十分に抜けず、凍結のおそれがあります。

2. 水栓の水抜き方法



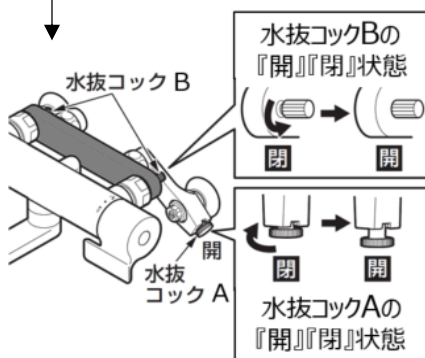
- 1 切替(開閉)ハンドルを下いっぱいに戻す。
- 2 水抜きコックが熱くないことを確認してください。

(1)壁付き サーモスタット混合水栓の場合



(2)壁付き サーモスタット混合水栓に
心間変換アダプター(TBN01206型)を
取り付けている場合

心間変換アダプター



- 3 水抜きコックをすべて開ける。
空気を取り入れ、水を抜けやすくします。

(1)壁付き サーモスタット混合水栓の場合

取付脚部の 水抜きコックA 2カ所

(2)心間変換アダプターがある場合

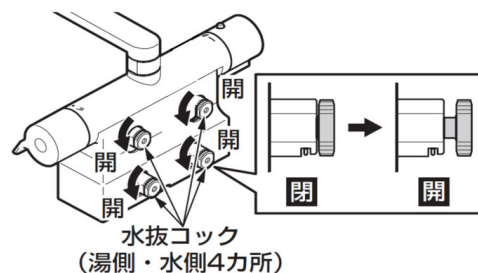
取付脚部の 水抜きコックA 2カ所

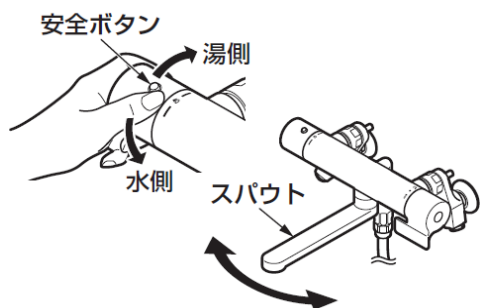
心間変換アダプターの 水抜きコックB 2カ所

(3)台付きサーモスタット混合水栓の場合

背面の水抜きコック 4カ所

(3)台付きサーモスタット混合水栓の場合



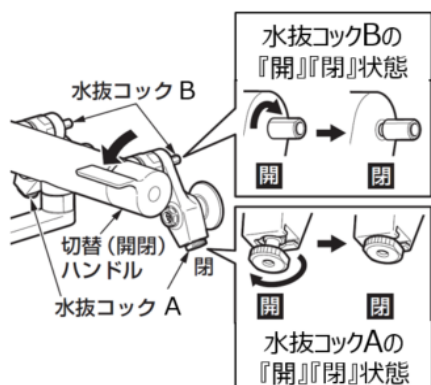


- 6 安全ボタンを押したまま、温度調節ハンドルを湯側⇔水側と複数回切り替え、スパウトから水を抜く。確実に水を抜くため。

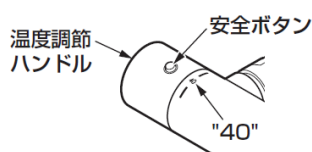
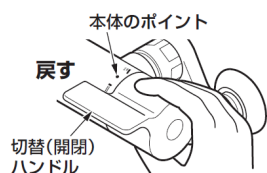
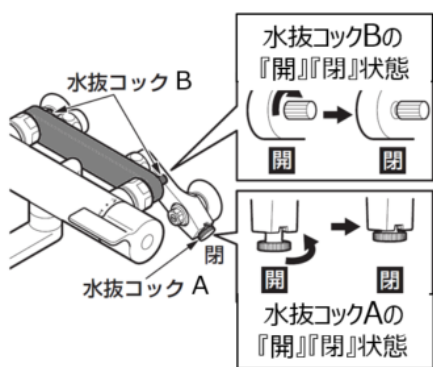
- 7 確実に水が抜けたことを確認する。
※水抜きが不十分な場合、凍結破損のおそれがあります。

- 8 水抜コックを閉める。

(1)壁付き サーモスタット混合水栓の場合



(2)壁付き サーモスタット混合水栓に心間変換アダプター(TBN01206型)を取り付けている場合



(1)壁付き サーモスタット混合水栓の場合

取付脚部の 水抜コックA 2カ所
水抜コックB 2カ所

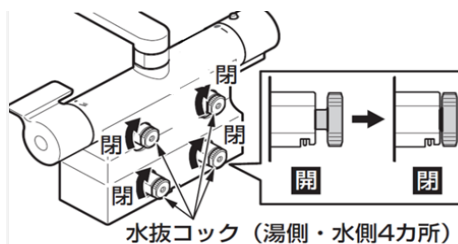
(2)心間変換アダプターがある場合

取付脚部の 水抜コックA 2カ所
心間変換アダプターの 水抜コックB 2カ所

(3)台付きサーモスタット混合水栓の場合

背面の水抜コック 4カ所

(3)台付きサーモスタット混合水栓の場合

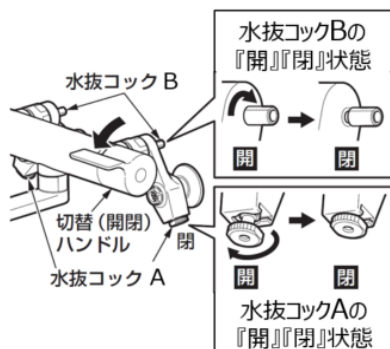


- 9 切替(開閉)ハンドルを閉める。
⇒水抜き完了です。

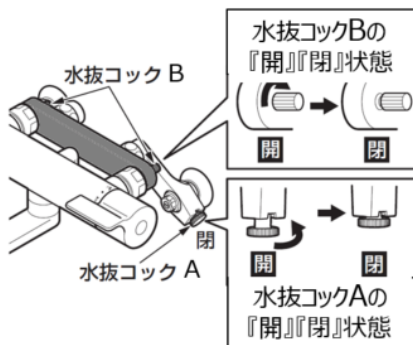
- 10 温度調節ハンドルの安全ボタンを"40"の位置にしておく。

通水再開方法

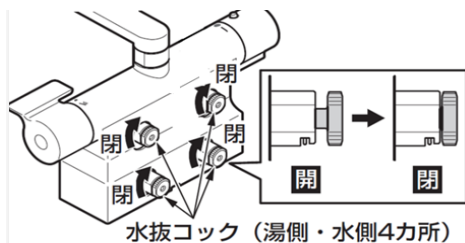
(1)壁付き サーモスタット混合水栓の場合



(2)壁付き サーモスタット混合水栓に 心間変換アダプター(TBN01206型)を 取り付けている場合



(3)台付きサーモスタット混合水栓の場合



1

すべての水抜コックが閉まっていることを確認する。

(1)壁付き サーモスタット混合水栓の場合

取付脚部の 水抜コックA 2カ所

(2)心間変換アダプターがある場合

取付脚部の 水抜コックA 2カ所

心間変換アダプターの 水抜コックB 2カ所

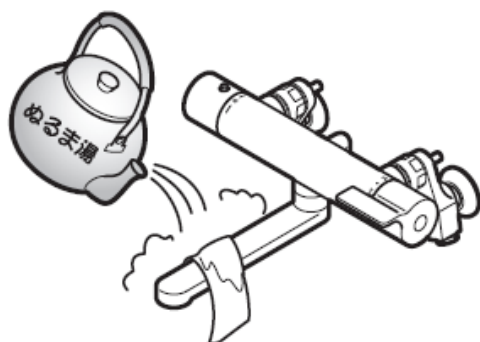
(3)台付きサーモスタット混合水栓の場合

背面の水抜コック 4カ所

2

切替(開閉)ハンドルが止めの位置まで
戻っていることを確認し、通水を再開する。

水抜きを行っても通水再開後、水が出ない場合の対応方法

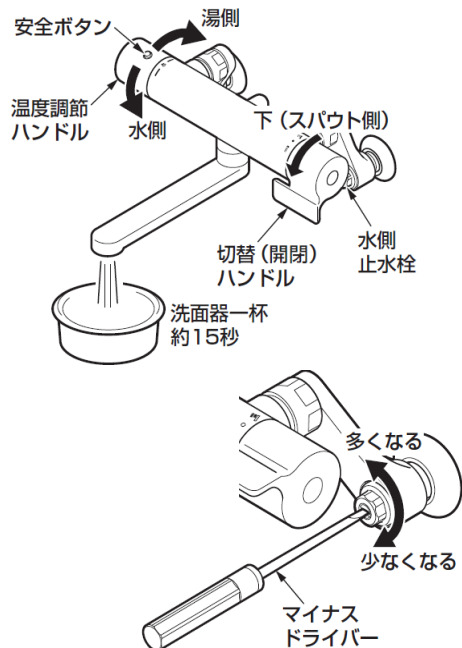
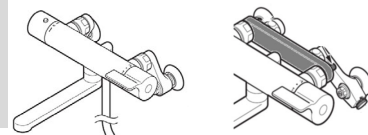


水抜きを行っても吐水口の網目や
フィルターに付着した水滴が凍り、
通水後も少しの間、水が出ない場合があります。

そのときはタオルなどの布を巻き付け、
しみこませるようにゆっくりとぬるま湯をかけてください。

準備するもの：洗面器、マイナスドライバー

(1)壁付き サーモスタット混合水栓 および (2)壁付き サーモスタット混合水栓・心間変換アダプター付き の場合



- 1 温度調節ハンドルを下(水側)いっぱいに戻し、
切替ハンドルをスパウト側いっぱいに戻す。
スパウトから水が出ます。

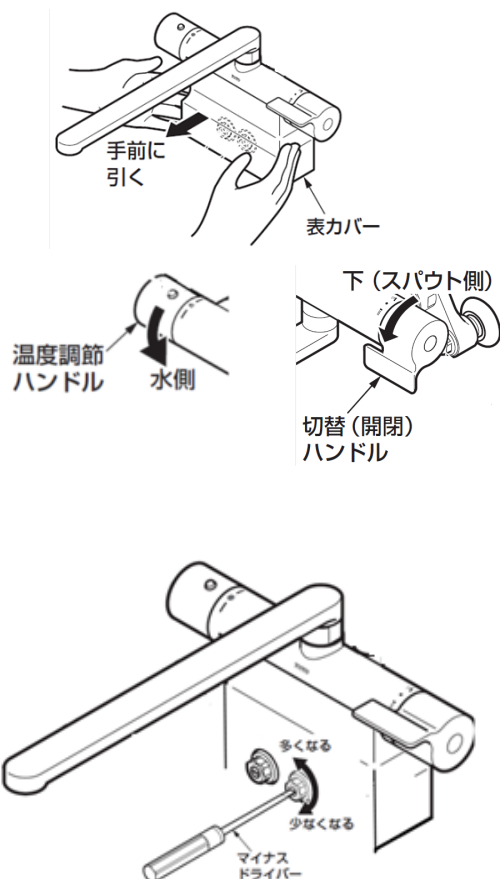
- 2 流量が15L/分程度(洗面器一杯にするのに
約15秒弱)になるように水側止水栓で調節する。
時計回りに回すと流量が少なくなり、反時計回りに
回すと多くなります。



湯側の流量調節をするときはやけどに十分に注意してください。

- 3 安全ボタンを押しながら温度調節ハンドルを上(湯側)
いっぱいに戻し、②と同じように湯側止水栓で流量を調
節する。

(3)台付きサーモスタット混合水栓の場合



- 1 表カバーを手前に引いて、外す。
- 2 温度調節ハンドルを下(水側)いっぱいに戻し、
切替ハンドルをスパウト側いっぱいに戻す。
スパウトから水が出ます。
- 3 流量が15L/分程度(洗面器一杯にするのに
約15秒弱)になるように水側止水栓で調節する。
時計回りに回すと流量が少なくなり、反時計回りに
回すと多くなります。



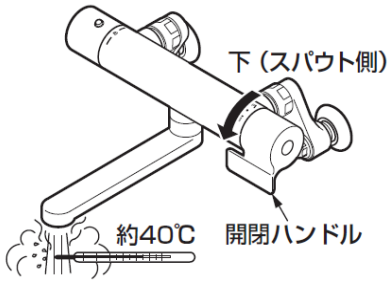
湯側の流量調節をするときはやけどに十分に注意してください。

- 4 安全ボタンを押しながら温度調節ハンドルを上(湯側)
いっぱいに戻し、
②と同じように湯側止水栓で流量を調節する。

万一 凍結した場合の対応方法



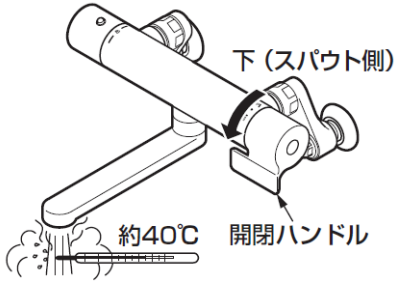
準備するもの：温度計



**万一、凍結した場合は、
通水再開後の吐水時に温度調節ハンドルの目盛り
"40"と吐水温度があっているか確認してください。**

温度がずれている場合の調整方法

準備するもの：温度計、精密ドライバー



- 1 開閉ハンドルを下いっぱいに戻してください。**
スパウトから水が出ます。
- 2 温度調節ハンドルを目盛りに関係なく
適温（約40℃）の湯が出る位置まで回す。**
温度調節ハンドルは目盛り"40"を超えた付近で
ロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、
安全ボタンを押しながら回してください。
- 3 温調ハンドルのキャップを
精密ドライバーなど 先の細いものを使用しめっき表面を
傷つけないように注意しながら外す。**
- 4 次に 小ねじを外して
温度調節ハンドルが回らないように注意して
ハンドルを抜き取ってください。**
ハンドルの取り扱いには十分に注意してください。
落下させるとけがをしたり、
ハンドルが変形するおそれがあります。
- 5 目盛りの"40"の文字とポイントをあわせて、
温度調節ハンドルをはめ込む。**
- 6 精密ドライバーで小ねじを固定し、キャップを取り
付ける。**
- 7 固定後に適温（約40℃）の
湯が出ているか確認する。**

